

新規登録団体紹介

須賀川地区保護司会

「須賀川地区保護司会」では、犯罪を犯した人や非行のある少年の立ち直りを地域で支える民間ボランティア団体として、保護司の職務に関する連絡調整をはじめ、必要な資料及び情報の収集や研究等を行うとともに、犯罪予防のための地域社会への啓発活動等を行っています。



☎0248-72-1004 (大野)

遊水会

「遊水会」では、河川敷の有効活用などによる環境美化及び水質調査等を通じて多くの市民と水環境保護について考えることを目的に、市内の小・中学校等で環境教育として「せせらぎスクール」の実施や不法投棄の防止、ゴミ撤去活動を行っています。



☎0248-67-2321 (佐藤)

SDGs特集⑤ 身近なSDGs

●エシカル消費

エシカル*消費とは、地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動です。日々のお買い物で「安心・安全」や「品質」、「価格」だけでなく「これは環境にやさしい商品かな?」や「こっちの商品は売上金の一部が寄付になるのかな?」など、無理なくできることから「エシカル消費」を実践してみましょう! 具体的にどんなことをすればいいの?

- ・人への配慮→福祉支援に積極的な事業者の商品を買う など
- ・社会への配慮→売上金の一部が寄付につながる商品を買う など
- ・地域への配慮→被災地産の商品を買う など
- ・環境への配慮→お買い物ではレジ袋の代わりにエコバックを使う など

*エシカル(ethical)=倫理的な・道徳的な

《参考》消費者庁エシカル消費啓発パンフレット「みんなの未来にエシカル消費」



須賀川市民活動サポートセンター(須賀川市民交流センターtette1階)

〒962-0845 須賀川市中町4-1
TEL.0248-73-4407 FAX.0248-73-4410 <https://s-tette.jp>
市民活動に関する相談 9:00～17:00
交流スペースの使用 9:00～21:00(日、祝日は20:00まで)

サポセンだよりをwebでご覧になる方は
こちらから(イベント詳細はこちらから)



須賀川市民活動サポートセンター

サポセンだより



表紙

kokoyori 「みんなでゴミひろい&おやつ作り」

kokoyoriは親子・家族の境界なく、地域のみんなが「つながる」コミュニティを目指し、居場所づくり・おゆずり会・フードパントリーなどの活動を行っています。
今回のイベントは須賀川市役所を出発し、2グループに分かれて周辺のゴミひろいを行いました。この日は、冷たい風がふき、時々雨も降っていましたが、子どもたちは元気にたくさんの小さいゴミやペットボトルをひろうことが出来ました。また、途中で落とし物を見つけて警察署に届けることができ、社会勉強にもなりました。その後、kokoyoriハウスに戻りおやつ作りをし、楽しみながら美味しく頂きました。

【日】 令和5年4月16日(日) 【場所】 須賀川市役所周辺、kokoyoriハウス (問合せ) kokoyori 0248-73-2054(熊田)

特集

～市民のチカラ～ 須賀川手話サークルあゆみ会

～サポセンレポート～

- ・特定非営利活動法人OYAKODOふくしま
- ・NPO 法人未来のかけはし福島
- ・福島アクティブキッズ project
- ・須賀川スクエアダンスクラブすまいる
- ・すかがわ昔話の会
- ・須賀川地区保護司会
- ・遊水会

～新規登録団体紹介～

SDGs特集⑤ 身近なSDGs

▶ kokoyori
ホームページ



▶ kokoyori
Instagram



市民のチカラ 須賀川手話サークルあゆみ会



活動のきっかけ

最初に手話サークルが誕生したのは昭和38年。ある病院にろうあ者が入院してきた時のこと。より良い看護にはこの方の言語で伝えなければと、看護師達が手話学習会「みみずく」を結成。服薬は食前・食後・食間と色々です。座薬に至っては座って飲んでしまったという話もあります。みみずくの理念は「奉仕ではなく、ろうあ者とともに歩む。」これに呼応して各地に手話サークルが誕生しました。昭和47年「手話を学び、ともに手を取り合い、知識を高め親睦を図る」目的で結成したことが須賀川手話サークルあゆみ会活動のきっかけです。

主な活動

小学生から後期高齢者まで幅広く在籍。自身の都合で夜や昼の例会に参加できます。初心者から通訳者を目指す人までいつでも始められますよ。目黒蓮君並みのイケメンは期待薄ですが、ろうあ者が優しく指導してくれますよ。
○夜の部
毎週金曜日 19時～21時
○昼の部
毎週火曜日(第3火曜のみ水曜日) 10時～12時
サポセンフェスティバルや子どもの祭典など関係団体と協働した活動も聴こえない人とともに(^_^)☆

活動の中で よかったこと

何といっても手話が通じた喜びに勝るものはありません。「伝える」と「伝わる」ことが大きく異なることに気づくでしょう。昨年は発会50周年でしたが須賀川地方聴力障害者会とともに節目を祝いました。また「咲む」上映会も最後まで、ともに取り組むことができました。その結果、多くの市民の皆さんに観覧いただき「感動した。障がいに関係なく寄り添うことが大切」「できることから始めたい」等々のアンケート結果に社会が少しずつ、しかし確実に変わっていることを実感しました。紙面を借りて改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

今後の抱負

須賀川市手話言語条例制定後、私たちの責務は「市民に手話言語を普及する」が加わりました。さあやるぞ!という矢先のコロナ禍。出鼻をくじかれてしまいました。今後はwithコロナを模索しながら普及活動を進めます。地域で、学校で、職場でお気軽に手話出前講座をご活用ください。

〈サークルに関する問い合わせ〉

須賀川市社会福祉協議会
☎0248-88-8211

〈出前講座の申し込み・問い合わせ〉

須賀川市社会福祉課
☎0248-88-8112

サポセンレポート

今号では令和5年2月からの活動をお届けします。各団体とも、コロナ禍の中でも感染症対策を講じる等の工夫をしながら活動を行っています。活動に興味のある方は、各団体またはサポートセンターへご連絡ください。

01 特定非営利活動法人OYAKODOふくしま 「相馬の食材を使った食育」



特定非営利活動法人OYAKODOふくしまは、子育て支援に関する事業や子どもの育成を支える地域コミュニティづくりに関する事業などをおこなっています。講師にringo companyの榊裕美さんを迎え、聖光学院高等学校の生徒は食について学びました。生徒は、まず、東日本大震災、原発事故以降の福島海と水産業について、これまでと現状の話を聞きました。その後、相馬で獲れたカレイ、アイナメ、イカなどを実際にさばき、相馬と須賀川の野菜も使って調理をし、最後には美味しくいただきました。

て、これまでと現状の話を聞きました。その後、相馬で獲れたカレイ、アイナメ、イカなどを実際にさばき、相馬と須賀川の野菜も使って調理をし、最後には美味しくいただきました。

場 所 市民交流センターtette クッキングルーム
日 期 令和5年2月11日(土)

☎090-2279-4752(磯貝)

03 須賀川スクエアダンスクラブすまいる 「東公民館まつり」



「東公民館まつり」に初めて参加し、スクエアダンスを披露しました。「発表の部」は4年ぶりの開催で、たくさんの来場者が集まりました。スクエアダンスを初めて知る方も多く華やかな衣装と軽やかなダンスを楽しんでいただきました。メンバーが一曲踊った後に、体験会をおこないました。観客の皆さん、ジュニアボランティアの生徒と一緒にスクエアダンスに挑戦し、とても盛り上がりました。

場 所 東公民館 日 期 令和5年2月26日(日)

☎080-1805-5033(菊地)

05 福島アクティブキッズproject 「第1回ロボット教室アイデアコンテスト」



福島アクティブキッズprojectは、須賀川市と郡山市でロボット教室を開校しています。今回はアイデアコンテストで、その教室の生徒の中から、小学1年生から4年生の6名がエントリーし、オリジナルロボットを披露しました。SDGsを意識したロボット、原発の廃炉のことを考えたロボット、自分の好きなものをつ

めこんだロボットなど、アイデアあふれるロボットが登場しました。代表の鈴木さんは「地元から最先端技術に関わる人材の育成を目指して、児童期からの早期のロボティクス教育を進めています。子どもたちが20年、30年先の未来で活躍することを願っています。」と話していました。

場 所 市民交流センターtette ルーム5-1
日 期 令和5年3月12日(日)

☎050-3580-7166(鈴木)

02 NPO法人未来のかけはし福島 「麻糸績(う)み練習会」



NPO法人未来のかけはし福島は、世代を超えた交流の場を提供し、心身の健全な育成を促すために様々な活動を行っています。7名が参加し、麻の繊維を、汚れをおとし、米ぬかのしぼり汁につけて柔らかくし、さいて糸の

の工程は、糸になる前の状態で終わりました。ゆったり会話を楽しみながらも、ひとつひとつ工程を確認し、とても丁寧に繊細に作業を進めました。

場 所 市民交流センターtette クッキングルーム・ルーム3-3
日 期 令和5年2月19日(日)

☎080-1808-1051(陣野)

04 つばさ～日中ハーフ支援会 「日本語教室」



毎週水曜日に会員向けに日本語教室を開催しています。1人ひとりテキストを読み、読み終えた後に会員同士で読み方が正しいか確認しました。会員の皆さんは、日本語能力試験の受験に向けて頑張っています。

場 所 岩瀬公民館 日 期 令和5年3月8日(水)

☎080-1843-8506(城坂)

06 すかがわ昔話の会 「風流の民話館」第90回スペシャル



すかがわ昔話の会は、奇数月の第3土曜日に「風流の民話館」を開催しています。平成17年に始まり、今回で節目の90回を迎えました。昔話の他に紙芝居やエプロンシアターも披露しました。「狸森(むじなもり)」の地名の由来や「江持洞門(えもちどうもん)」を作った方の話など、地元ゆかりのお話を、方言をまじえて

臨場感たっぷり語りました。すかがわ昔話の会では、昔話を語るだけでなく、地域ゆかりの話や地域の偉人の活躍を伝えることも大切にしています。エプロンを使った人形劇、エプロンシアターでは、会員手作りの人形が登場し、「かえるの坊さま」という話を愉快地語りました。来場者は、会員の語る物語の世界に引き込まれ、じっと聞き入っていました。

場 所 風流のはじめ館 日 期 令和5年3月18日(土)

☎0248-75-2974(安田)